



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 サンリン株式会社 上場取引所 東
コード番号 7486 URL <https://www.sanrinkk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 久志
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 小原 正彦 TEL 0263-97-3030
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,180	6.3	△124	—	169	△50.1	70	△72.5
2025年3月期第1四半期	5,814	△9.1	△57	—	339	—	255	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 43百万円 (△92.4%) 2025年3月期第1四半期 579百万円 (314.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	5.73	—
2025年3月期第1四半期	20.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	27,844	20,647	74.1
2025年3月期	29,069	20,898	71.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 20,639百万円 2025年3月期 20,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	0.00	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	3.8	700	7.3	1,150	△10.0	770	△6.3	62.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	12,300,000株	2025年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	65,792株	2025年3月期	65,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	12,234,208株	2025年3月期1Q	12,234,208株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に緩やかな回復基調で推移した一方、食料品や生活必需品を中心とした価格上昇が続いており、個人消費の冷え込みが懸念されるほか、米国の関税政策や中東をはじめとした国際情勢の行方も景気の下振れリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループ関連のエネルギー業界に関しましても、中東情勢緊迫化等によるエネルギー輸入価格の高騰に加え、人件費および物流費の上昇に伴う各種住宅設備機器等の仕入価格上昇が継続しており、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は昨年創立90周年を迎え、次の100周年を見据えて今年度より「新中期経営計画2025-2027」をスタートさせました。エネルギー供給事業者として事業活動を通じて「地域社会の豊かな暮らし」と「カーボンニュートラル」の両立を図り、グループ全体で持続可能な社会の実現を目指しつつ、「地域密着型生活関連総合商社」として安心・安全なエネルギーの安定供給と、より質の高いサービスの提供に努めてまいります。

主力でありますLPGガス事業におきましては、一般家庭での単位消費量の増加や大口需要家向けの販売が堅調に推移したこと等により、販売数量は前年同四半期比増加となりました。

石油事業におきましては、政府の燃料油価格激変緩和対策事業による補助金の段階的な縮小等の影響によりガソリンの販売数量は前年同四半期比減少となりましたが、灯油は春先以降の中東情勢の急速な緊迫化により、値上がりを警戒した消費者の駆け込み需要等もあり、販売数量は前年同四半期比増加となりました。

電気事業におきましては、販売電力量は若干減少しましたが、取次手数料が増加したことにより売上高は前年同四半期比増加となりました。また、太陽光発電システムおよび蓄電池の販売におきましても、電気料金上昇やCO₂排出削減を図る企業の需要が増加したことから、産業用の受注が拡大いたしました。

機器販売・リフォーム事業におきましては、6月に開催した「紙面・バーチャル展示会」において引き続き補助金を活用した省エネ給湯器や断熱リフォームをはじめとして、快適性や住宅の省エネに繋がるガス衣類乾燥機や家庭用エアコンを積極提案した結果、前年を大きく上回る実績となり、機器販売・リフォーム事業の売上高は前年同四半期比増加となりました。

子会社におきましては、エネルギー関連事業の安曇野RE株式会社において、2024年6月に安曇野市と脱炭素に向けた連携協定を結び、PPA（電力購入契約）事業として2024年度中に安曇野市の公共施設11箇所および民間施設2箇所に太陽光パネルを設置し、2025年4月以降各施設への売電を開始いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、エネルギー関連事業においてLPGガス、石油類の増販および機器販売の売上が増加したこと、また青果事業において根菜類・果物などの売上が増加したこと等により、6,180百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

利益面におきましては、賃上げによる人件費の増加や配送コストの上昇等の要因により販売費及び一般管理費が増加したこと、営業損失124百万円（前年同四半期は57百万円の営業損失）となりました。経常利益は子会社において設備投資に対する交付金が前年同四半期と比較して減少したこと、169百万円（前年同四半期比50.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は70百万円（前年同四半期比72.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エネルギー関連事業)

LPGガス、石油類の増販および機器販売の売上増加等により、売上高は5,379百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。セグメント損失は、賃上げによる人件費の増加や配送コストの上昇等の要因により販売費及び一般管理費が増加し135百万円（前年同四半期は42百万円のセグメント損失）となりました。

(製氷事業)

大口取引先への売上が増加したこと、売上高は103百万円（前年同四半期比18.3%増）となりました。セグメント利益は新工場の償却費や光熱費の減少等により6百万円（前年同四半期は2百万円のセグメント損失）となりました。

(青果事業)

主に根菜類・果物などの売上が増加したこと等により、売上高は554百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。セグメント損失は減価償却費増加や輸送コストの上昇等がありましたが、売上増加の影響等により29百万円（前年同四半期は46百万円のセグメント損失）となりました。

(不動産事業)

土地販売等がほぼ前年並みであったことから、売上高は15百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。セグメント損失は売上高増加の影響等により3百万円（前年同四半期は6百万円のセグメント損失）となりました。

(その他事業)

運送事業・建設事業等のその他事業におきましては、建設事業において完工物件が増加したことから、売上高は127百万円（前年同四半期比35.5%増）となりました。セグメント利益は工事原価、運送原価の上昇等により13百万円（前年同四半期比21.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比1,224百万円減少し、27,844百万円となりました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,654百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比973百万円減少し、7,196百万円となりました。その主な要因は、支払手形、買掛金及び電子記録債務の減少488百万円、未払法人税等の減少238百万円等によるものであります。

純資産は、利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末比250百万円減少し、20,647百万円となりました。この結果、自己資本比率は74.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、取扱い商品の性質上季節的変動が大きなLPGガス及び石油類等のエネルギー関連事業の第3四半期及び第4四半期に占めるウェイトが高く、また為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格並びに数量に対し不確定な要素を含むため、現時点では2025年5月9日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,156	6,674
受取手形、売掛金及び契約資産	4,270	2,616
電子記録債権	207	159
商品及び製品	1,643	1,611
仕掛品	43	43
原材料及び貯蔵品	301	488
その他	1,090	640
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	13,713	12,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,434	10,596
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,851	△7,903
建物及び構築物（純額）	2,583	2,692
機械装置及び運搬具	6,013	6,034
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,982	△4,986
機械装置及び運搬具（純額）	1,031	1,047
工具、器具及び備品	3,455	3,540
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,010	△3,026
工具、器具及び備品（純額）	444	513
土地	4,432	4,432
建設仮勘定	81	197
有形固定資産合計	8,573	8,883
無形固定資産		
その他	178	170
無形固定資産合計	178	170
投資その他の資産		
投資有価証券	6,205	6,152
繰延税金資産	116	113
退職給付に係る資産	—	8
差入保証金	138	137
その他	168	171
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	6,603	6,557
固定資産合計	15,355	15,611
資産合計	29,069	27,844

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,542	1,128
電子記録債務	529	454
短期借入金	2,605	2,605
1年内返済予定の長期借入金	58	58
未払法人税等	239	1
賞与引当金	292	116
その他	873	743
流動負債合計	6,141	5,108
固定負債		
長期借入金	291	277
繰延税金負債	582	644
役員退職慰労引当金	194	197
退職給付に係る負債	650	668
資産除去債務	157	157
その他	153	143
固定負債合計	2,029	2,088
負債合計	8,170	7,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,248	1,248
利益剰余金	16,133	15,908
自己株式	△44	△44
株主資本合計	18,849	18,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,021	1,994
退職給付に係る調整累計額	27	20
その他の包括利益累計額合計	2,048	2,014
非支配株主持分	0	7
純資産合計	20,898	20,647
負債純資産合計	29,069	27,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,814	6,180
売上原価	4,340	4,735
売上総利益	1,473	1,445
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△0	△0
給料及び手当	478	489
賞与引当金繰入額	89	95
退職給付費用	22	9
役員退職慰労引当金繰入額	8	8
その他の人件費	165	177
減価償却費	98	101
消耗品費	169	151
その他	499	536
販売費及び一般管理費合計	1,530	1,569
営業損失(△)	△57	△124
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	82	120
受取賃貸料	8	9
持分法による投資利益	1	5
補助金収入	260	120
その他	48	45
営業外収益合計	402	301
営業外費用		
支払利息	2	5
その他	3	2
営業外費用合計	5	7
経常利益	339	169
税金等調整前四半期純利益	339	169
法人税等	83	91
四半期純利益	255	77
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	255	70

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	255	77
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	296	△35
退職給付に係る調整額	1	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	26	9
その他の包括利益合計	324	△33
四半期包括利益	579	43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	579	36
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	164百万円	175百万円
のれんの償却額	8	9

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,120	87	497	14	5,719	94	5,814
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	46	—	—	—	46	263	309
計	5,166	87	497	14	5,766	357	6,124
セグメント利益又は 損失(△)	△42	△2	△46	△6	△97	16	△81

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△97
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	24
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△57

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他（注）	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,379	103	554	15	6,052	127	6,180
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	52	—	—	—	52	270	323
計	5,432	103	554	15	6,105	398	6,503
セグメント利益又は 損失（△）	△135	6	△29	△3	△162	13	△149

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△162
「その他」の区分の利益	13
セグメント間取引消去	25
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△124

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。